

いぬなし青葉

4月に3年生の生徒を対象に全国学力・学習状況調査を、1・2年生を対象に、みえスタディチェックを、また、6月に全校生徒を対象に生活実態調査を行いました。その結果や分析を、今回と次回の2回に分けてお知らせします。文字が多く、読んでいただくのに時間がかかりますが、お時間のある時に、ゆっくりと目を通していただき、お子さまの成長につなげていただければと思います。よろしくお願いします。

全国学力・学習状況調査、みえスタディチェック、生活実態調査の結果および分析

- 全国学力・学習状況調査（以下、全国学調）とは、文部科学省が全国の中学3年生全員を対象に、学力及び学習状況等の把握を目的に、2007年から始まった調査です。今年度は4年ぶりに英語の調査が実施されました。全国平均との比較ができ、本校の強みや課題が把握できます。
- みえスタディチェック（以下、みえスタ）とは、全国学調の解答状況を分析して三重県教育委員会が作成した問題で、数学、国語、理科の3教科と学習習慣等の質問に、県下の中学1・2年生が取り組みました。
- 生活実態調査とは、本校独自の調査で、全校生徒に年間2回実施しています。全国学調の生徒質問紙の設問とある程度合わせながら、生徒の生活状況や学習状況を把握し、生活指導、学習指導および授業改善につなげています。今年は6月に実施しました。過去の本校の生徒の状況と比較できます。
- 以上の3つの調査の主な結果と結果分析をお知らせします。それらのことをもとに、研修委員会や教科部会を中心に本校の取組や方向性を確認し、授業改善や指導改善につなげていきます。ご家庭においても、家での過ごし方や家庭学習の取組を振り返っていただき、お子様の成長につなげていただきますようお願いいたします。

学力的な面について

- 各教科の正答率および各教科の強み・弱みは以下のようになりました。

【表1】		国語	数学	理科	英語
1年生	市平均値と比較して	ほぼ同じ	少し上回る	上回る	—
2年生	市平均値と比較して	少し下回る	少し下回る	ほぼ同じ	—
3年生	全国平均値と比較して	ほぼ同じ	少し上回る	—	ほぼ同じ

- 【1年生】●国語：漢字の正答率は市の平均値と比べが高い。無回答率が低く、粘り強く取り組む姿勢が見られる。文章の構成や特徴を捉えるという設問の正答率が平均と比べて低い。主語と述語の照応の問題の理解はできている。●数学：「数と計算」「図形」「測定/変化と関係」「データの活用」において、市の平均値を上回った。無回答率が低く、粘り強く取り組んでいる。記述式問題の設問の正答率は、選択式、短答式の設問に比べ低い。理由等を説明する力に課題がある。●理科：どの領域（エネルギー・粒子・生命・地球）も市の平均値を上回った。無回答率も低い。
- 【2年生】●国語：「読むこと」に関する解答は市の平均を上回っている。「相手に応じて表現を工夫して書くことができる」という問いに対し、市の平均値を下回った。また、課題解決に粘り強く取り組むことが苦手な生徒が見受けられる。●数学：関数の分野は市の平均値を上回った。数についての知識を問う問題について課題が見られた。●理科：生物、地学、力の分野において、市の平均値を上回った。記述問題の正答率が高く、学んだ知識を活用する力が身に付いている。結果を分析し実験の組み合わせを指摘する問題において、課題が見られた。
- 【3年生】●国語：自分の考えについて記述する問題において、全国平均値を上回った。無回答率が低く、粘り強く取り組む姿勢が見られる。歴史仮名遣いを現代仮名遣いに直す問いの正答率が低く、語彙力に課題が見られた。●数学：「数と式」「関数」「データの活用」の分野において全国平均値を上回った。基本的な問題や語句の意味など、よく理解できている。結論が成り立つための前提を見出す点において課題が見られる。●英語：事実と考えを区別して読んだり、文と文との関係を正確に読み取ったりする問題の正答率は県や全国の平均値を大きく上回った。情報を正確に聞き取ったり、短い文章の要点を捉えたりする問題で、課題が見られた。

- 全国学調における本校3年生の各教科に対する意識は次のようになりました。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」（以下、肯定的な回答）と答えた生徒の割合）（単位 %）

【表2】	国語 本校/全国	数学 本校/全国	英語 本校/全国
教科の勉強は好きか	60.0/61.4	66.3/56.7	55.7/51.9
教科の勉強は大切だと思うか	95.8/92.4	87.4/85.0	91.6/88.0
教科の授業内容はよくわかるか	89.5/80.0	84.2/73.3	74.8/63.9
教科で勉強したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか	89.0/88.7	78.5/75.8	90.0/87.5

- 「国語の勉強は好きか」という問いに対し、肯定的に回答した生徒の割合は、全国平均をわずかに下回りましたが、「数学の勉強や英語の勉強は好きか」の問いに対し、肯定的に回答した生徒の割合が全国平均よりも高い結果となりました。また、「国語、数学、英語の勉強は大切だと思うか」の問いに対し肯定的に考えている生徒の割合も全国平均よりも高く、特に「国語の勉強は大切」「英語の勉強は大切」であると肯定的に答えた生徒は90%を超えており、大変高い割合となっています。「教科で勉強したことは、将来、役に立つと思うか」の回答も、全国平均よりも高くなりました。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」の問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は86.3%（全国平均79.2%）でした。
- これらの結果から、国語や数学、英語の授業に対して、興味を持って、意欲的に取り組んでいることが分かります。
- また、みえスタの意識調査結果と成績結果のクロス集計から、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」の問いに、肯定的に答えた2年生の生徒の国語の平均正答率と否定的に答えた生徒の平均正答率の差は7ポイントもありました。同じく、数学ではその差が17ポイントもありました。このことから、授業への取り組み方が学力の定着や向上に大きく関係があることが分かります。
- 「読書は好きか」の問いに対し、肯定的に答えた3年生の生徒の割合は、72.1%（全国平均65.4%）と高く、朝の読書の取組が成果として表れてきているのではないかと考えられます。また、読書の習慣は各教科の学習を支えるものですので、これからも継続して取り組んでいきます。

【表3】		1年生/市	2年生/市	3年生/全国
学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらい、勉強をしますか（塾等を含む）	2時間以上	13.6/21.8	18.4/23.0	27.9/33.7
	30分未満	27.3/18.9	23.0/19.4	19.0/15.9
学校が休みの日に、1日当たりどれくらい、勉強をしますか（塾等を含む）	2時間以上	19.4/21.5	25.3/25.9	37.9/40.0
	1時間未満	54.4/49.6	42.5/44.5	37.9/34.2

- 家庭等での学習時間は【表3】のようになりました。3年生は全国平均値と比べ、下回る結果となりました。2年生は、四日市市の中学生の平均値と比べて休日は同程度であるものの、平日は下回る結果となりました。1年生は、平日も休日も家庭等での学習時間は少ないことが分かります。
- また、「家で計画を立てて勉強をしていますか（授業の予習や復習を含む）」の問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は1年生では81.2%（市平均84.4%）、2年生では62.7%（市平均65.2%）、3年生で54.7%（全国平均55.0%）でした。市や国の平均値と大きな差はみられませんが、学年が上がるにつれて自分で計画を立てて勉強する生徒の割合が減少していく傾向があります。
- 塾等に通っている生徒の割合は、1年生から順に43.0%、53.0%、72.9%（全国平均60.7%）となっており、全国平均と比べても高くなっています。このことも自分で計画を立てて勉強をする時間がなくなっている原因の1つではないかと推測できます。
- 家庭等での学習の時間を確保するとともに、自分の興味や、自分の苦手や課題を把握し、自分で考えて、計画的に進めることが、学力の定着・向上につながります。また、自分を見つめ、自分で考え、取り組む力が、将来にわたり必要な力であると考えます。
- 国語、数学、英語の3教科に限らず、すべての教科で、全国学調やみえスタの結果を活用し、授業を見直していくことを確認しました。授業を進める中で、「生徒にとって主体的な学びとなっているか」「生徒にとって深い学びとなっているか」を常に意識し、生徒自身が「何がわかったのか」「何ができるようになったのか」「何のために学習しているのか」「この内容がどのようにつながっていくのか」等が実感できる授業を目指していきます。